

うたごえ新聞

1/3・10

(新年合併号)
(1994年)
NO. 1469

THE SINGING VOICE
OF JAPAN (UTAGOE)

日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒100 東京都新宿区大久保2-16-36
☎03(3209)0638 FAX03(3200)0105
振替口座 東京2-5631 毎週月曜日発行
1部120円・税4円(〒26円)・月480円・税15円(〒120円)

今年、ヨリヨリ夢中よ



チェリ スト 長谷川陽子さん

新しい年、世界に羽ばたく若き音楽家を訪ねて。新晋インタビューは、チェリスト・長谷川陽子さん。「今は何にでも挑戦したい。今年は全部無伴奏のソロコンサートにチャレンジ、すっぴん、難しいです。6月はブリテンのチェロ・ソナタに挑戦」と語る長谷川さん。日本の主なオーケストラとはほとんど協演、数々の音楽賞受賞の経歴をほらいて変わって、さわやかでかわいい素顔。ブランドピアノを型取ったレッスン室のある世田谷のお宅に訪ねて。インタビューは三輪純永記者。



三輪 あけまして、おめでとう。お正月は、おめでたが勢揃いされたコンサートです。
長谷川 おめでとうございます。(8月21日、新宿文化センター)でお会いした時、レコーダーで聞いた音色に惹かれてください。
三輪 昨年、井上頼博先生が、それが五歳の時。現在の傘寿を祝ってお弟子さんた

この若くは世界的に活躍される非凡の一端を感じました。音楽界へのデビュー以来、その道のりは「自身にとっ て、厳しい、楽しい、どっちが大きいですか？」
長谷川 私はこう言うのです。中身の無い人間だと思われてしまつてもいい、自分が実際に、厳しいと思ったことは一度もないんです(笑い)。自分でやりたいって思っ て、家で練習して、井上先生の前でレッスンを受けて、弾くことが楽しいと思つての延長にいます。
強いて厳しいと言えは、そうですね。演奏家としての練習することも仕事のうちです。コンサートが月に五日、六日であったとしても、毎日

の積みかさねですから。すると例え、タイムカードを押して、十時から六時というふうに仕事の時間と自分の時間の区切りができないこと。それと、緊張感を自分でコントロールすることかしら。
三輪 演奏の前の緊張感が大変なものだと思います。
長谷川 ところがこれも自分では感じてないんです。でも、大好きなお寿司を旅先のコンサートの前には食べると、絶対、体にきちゃう。自分では気づいてないけど、胃腸が弱まっているんじゃないかね。

夢はバレエボールの選手、小説家の三輪 普通、高校生くらいに、自分はどう生きていこうかと考える人生の選択の時期、すでにチェリストという道があったという感じですよ。コンサートは月(5)六日(6、7面)につ

ふめだ
映画をみてとぎめぎしあわせ気分浸れたものが時が経つと醒めたりするが「男はつらいよ」など山田洋次監督作品のように、後日、改めて感動が湧き出てくる場合もある。
生活に根ざした笑いやペーソスだからだ。
☆ うたごえサークル、合唱団の演奏で、評判のよいものには、おおむね「生活感溢れる」といった感想がいついてくる。絵空事ではなく、生活の現実とその思いが、音楽的に誠実な演奏ならば伝わってくるからだ。
☆ 「生活実感溢れる演奏」について、うたごえ立場から考えてみると、それは生活の現実そのままが顕に表出されているからではない。現実の中の良い悪いを混ぜたものが芸術的に再構成されて表現されて初めて、「生活実感溢れる演奏」となるのだ。声の持ち味を生かす音楽技法などはこの営みに位置づけられる。
☆ ☆ ☆
今、日本社会の現実から未来に繋いでいくものをクローズアップし、作品にして、みんなで確かめていく文化の営みは、プロ、アマ、芸術ジャンルを問わず今年も旺盛に展開される。その中に、うたごえサークル、合唱団も加わっている。
☆ ☆ ☆
創意性を出し尽くし互いを励ます文化活動に今年も尽力し、日本国憲法が思つてく生活、みんなでつくりてゆきたい。(彦)

- 今年もオペラ花盛り(日下部吉彦) 2面
- ヒット曲という名のコマーシャル・ソング(伊藤強) 3面
- 45周年日本のうたごえ祭典 大音楽会をみて(木下明男)/特別音楽会をみて(関根礼子) 11面
- 合唱発表会総評(合唱団の部/職場の部/地域の部/婦人の部/一守屋博之/一日野三朗/一木内宏治/一横上さわえ) 10面
- 全国縦断百姓一揆コンサート(三輪純永) 5面
- (連載)「大空びっぴきびー」(RANKO) 3面
- 「空を見えますか」(池辺晋一郎) 3面